

あいち小児保健医療総合センター

病院長名	伊藤 浩明
所在地	〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目4 2 6 番地
交通案内	公共交通機関利用：ＪＲ大府駅西口から知多バスで約１０分 「あいち小児センター」下車 自動車利用：名古屋市中心部より名古屋高速→知多半島道路経由で約３０分（大府東海インターチェンジより約１０分）

□ 病院の特徴

あいち小児保健医療総合センターは愛知県で唯一の小児医療専門施設として、小児内科系、小児外科系ともに幅広い分野をカバーし、東海地方の小児三次救急医療の中心的な役割を果たしている。隣接する大府特別支援学校と連携を取り、慢性疾患をもつ小児の療養環境も配慮しながら治療している。また当施設は愛知県の小児保健の中核的な役割を担い、子育て支援、疾患・事故予防など、重要な小児保健分野の活動を行っている。小児医療の一次から三次まで、内科系疾患から外科系疾患まで症例が豊富である。

□ 研修プログラムの特徴

あいち小児保健医療総合センター総合診療科研修プログラム（小児科後期研修医プログラム）

【研修目標】

- ・一次から三次まで、あらゆる小児疾患に初期対応できる。
- ・外科系疾患も含む小児救急医療をおこなう力をつける。
- ・小児医療の専門診療科を幅広く経験し、総合診療から専門診療につなげることができる。
- ・複数の専門診療科やコメディカルとチーム医療ができる。
- ・小児科専門医を取得する。

【研修期間】３年

【研修スケジュール】

- １年目：総合診療部（総合診療科、救急科）を主体に診療
２年目から３年目：小児内科系診療科（アレルギー科、感染免疫科、循環器科、腎臓科、神経科、内分泌科）、麻酔科、集中治療科ローテート。新生児、血液腫瘍の他院研修（選択可）
- ・ベッドサイド教育を重視し、上級医とともにラウンドする。
 - ・専門医によるレクチャーを定期的に開催。
 - ・小児救急外来での重症例は、小児救急科医と連携して初期診療から関わり、総合診療科で入院診療を行うことで、一連の経過を学べる。



当院ヘリポートからの Dr ヘリ発着



□ 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、愛知医科大学病院、大垣市民病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、小牧市民病院、一宮市民病院、大同病院、蒲郡市民病院、名古屋市立西部医療センター、豊橋市民病院、南生協病院、北医療生協北病院、名南病院、一宮西病院、安城更生病院、陶生病院

□ メッセージ

指導医（総合診療科部長 鈴木基正）

当院は 2001 年設立のこども病院です。そのため指導医の世代も他の小児病院に比べて若いですが、専門的な知識・技術を持ち、バイタリティーにあふれた医師が多数います。現在、小児救急診療・小児集中治療・小児総合診療の充実に力を入れており、小児科診療の入り口として、実りある研修ができると確信しています。また専門診療科も幅広く充実しており、初期診療から専門診療へつなぐための知識を習得することができます。専門診療科の先生も相談しやすく、小児科専門領域の知識も学びやすい環境です。当院の弱点として血液腫瘍科・新生児科の研修が不足しがちなことがありますが、他施設と連携し研修を行い、すべての小児領域の疾患を経験できるようにします。後期臨床研修医終了後も希望者は専門診療科レジデントとしてさらに研修を継続することが可能です。小児科に興味のある初期研修医のみなさん、是非、我々と質の高い小児科診療を実践してみませんか？



□ 募集要項

・採用予定人数	３人
・給与／月額	３年次：362,000 円（予定）（週 38 時間勤務した場合。時間外手当は別にあり）昇給制度あり
・当直回数／月	月 4～5 回程度
・当直料／回	全年次 21,000 円/回
・その他	雇用保険、健康保険、厚生年金保険に加入
・応募連絡先	担当者 事務部管理課総務グループ 酒井
	電話番号 0562-43-0500（内線 3408）
	E メール shouni-hospital@pref.aichi.lg.jp